

|        |                                                                                                                        |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目指す学校像 | 一人ひとりのよさが輝き 笑顔と元気があふれる学校                                                                                               |
| 重点目標   | 1 主体的で互いに学び合う授業の創造及び子どもの自律を引き出す教育活動の実施<br>2 安全・安心で美しい教育環境の整備<br>3 家庭・地域と連携・協働し、開かれた学校づくりの構築<br>4 教職員の協働・協力体制の確立と指導力の向上 |

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、  
方策の評価指標」を設定。

|     |   |       |        |
|-----|---|-------|--------|
| 達成度 | A | ほぼ達成  | （8割以上） |
|     | B | 概ね達成  | （6割以上） |
|     | C | 変化の兆し | （4割以上） |
|     | D | 不十分   | （4割未満） |

| 学 校 自 己 評 価 |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                     |                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                   |     | 学校運営協議会による評価                                                                                                                                                 |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 年 度 目 標     |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                     |                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                   |     | 実施日令和7年2月6日                                                                                                                                                  |
| 番号          | 現状と課題                                                                                                                                                                                                                                                                | 評価項目                                                | 具体的方策                                                                                                                           | 方策の評価指標                                                                                                                                                          | 評価項目の達成状況                                                                                                                                                                                                                                                                         | 達成度 | 次年度への課題と改善策                                                                                                                                                  |
| 1           | (現状)<br>○全国学力・学習状況調査において、国語・算数共に全体的には全国平均に位置しており、概ね良好な結果であると言える。<br>(課題)<br>○全国学力・学習状況調査において、国語の選択問題での無解答率が全国平均を上回る傾向にある。基礎的な知識を身に付けることが必要である。<br>○研究主題を「個別最適な学びと協働的な学びの充実を核とした真の学力の育成」とし、3年計画で新たな研究をスタートするため、土台作りを行う必要がある。                                          | ○個別最適な学びや協働的な学びの充実<br><br>○児童主体の教育活動への転換            | ①児童が学習の見通しをもてるように学習計画や学習のねらいを示す。<br>②1 時間の中で、個別の学習や交流する時間を確保する。<br>個別：自分の考えをまとめるため知識等の定着のための繰返し学習のため 等<br>交流：考えを共有するため共同作業のため 等 | ①全学級で、学習計画の提示や学習のねらいを明示したり、自分で決めたりする授業を展開している。<br>②-1 「学びの指標」のクラウドを活用した共同編集の項目が1回目より2回目の方が0.5ポイント上がる。<br>②-2 学校評価アンケート(教職員)の個に応じた指導方法に関する二項目で肯定的な回答90%以上。        | ①各学級、各教科や発達段階に応じた学習計画を作成し、提示したり本時のめあて(ゴール)を明示したりするなど、児童が学習の見通しをもてるようにしている。<br>②-1 「学びの指標」が1回目より2回目の方が0.5ポイント以上数値が上がった教員が12名であった。他も大方微増している。<br>②-2 教職員アンケート「個に応じた指導法」83%、「きめ細かな個別指導」69%であった。                                                                                      | B   | ○個別最適な学びや協働的な学びの指導法について、各教職員に定着するよう、研修を通してよい取組を共有し、指導に生かすようにする。<br>○授業の振り返りが次の授業のめあてや見通しにつながるようにする。                                                          |
| 2           | (現状)<br>○学校評価アンケート(児童)において、「学校での生活が毎日楽しい」「学校に仲のよい友だちがいる」「相手を傷つけないように言葉づかいに気を付けている」各項目の肯定的な回答が、90%を超えている。<br>○学校評価アンケート(児童)において、教師が「秘密を守ってくれる」「困っていることを取り上げてくれる」の各項目の肯定的回答が90%を超えている。<br>(課題)<br>○学校評価アンケート(教職員)において、「組織的な学校施設や環境の整備・点検」の肯定的回答約80%のうちのA評価が11%に留まっている。 | ○児童一人ひとりへの細やかな教育支援・教育相談に向けた体制の充実<br><br>○安全・安心な学校生活 | ①毎月の生徒指導・教育相談部会で共有したことを軸として、スクールカウンセラー（SC）、スクールソーシャルワーカー（SSW）、関係機関との連携及び児童への支援を積極的に行う。<br>②教育相談を充実させる。                          | ①日々の報告や毎月の部会を基に、関係職員で役割等の分担をし、組織的な対応をする。<br>②学校評価アンケート(児童・保護者)の教育相談に関する各項目で肯定的な回答90%以上。                                                                          | ①児童への聞き取りを学年で分担したり、保護者への連絡の内容も間違えないように確認したりしている。必要に応じて、教頭も対応するようにしてきた。SCやSSWへの相談の積極的に行っている。<br>②児童アンケート「先生ははじめなどで困っていることをとりあげる」95%、保護者アンケート「教職員は相談に親身になる」93%となった。                                                                                                                 | A   | ○児童や保護者からの相談等については、聞き取りの漏れがないよう、また、相談者に寄り添った聞き取りができるよう、研修を重ねていく。<br>○初期対応を大事にし、管理職への報告や保護者への連絡を徹底していく。                                                       |
| 3           | (現状)<br>○学校運営協議会において、学校運営における課題を共有し、連携を強化している。<br>○育成会の方を中心に、地域による登下校の見守り等が充実している。<br>○PTAで持続可能な活動を模索し続け毎年改善している。<br>(課題)<br>○学校評価アンケート(保護者)の「地域の行事(活動)に積極的に参加している」の項目の肯定的な回答が50%を割っている。                                                                             | ○保護者・地域との連携・協働の強化<br><br>○児童の地域行事への積極的参加            | ①学校運営協議会やSSNで、積極的に情報を提示し、熟議において共有した具体的な内容について、実行に移す。<br><br>①児童が地域の行事に積極的に参加できるように、学校だより等を使って情報を提供する。<br>②地域のイベント等に学校からも参加する。   | ①学校運営協議会第1回、2回の熟議後、内容を吟味し、実行する。<br><br>①学校評価アンケート(教職員、保護者)の地域の行事に関する項目で肯定的な回答65%以上。<br>②地域の夏まつり、秋の運動会、育成会主催の講演会、会議等に校長又は教頭が参加し、地域の方とコミュニケーションを図ったり児童の様子を見守ったりした。 | ①1回目の熟議で、あいさつについて年間通した取組の必要性が挙げられたため、校長を筆頭に教員による繰返しの指導・呼びかけと児童会のあいさつ運動を並行して行った。2回目の熟議で、保護者との連携のための懇談会の有効活用が挙げられたため、教職員で共有した。<br>①教職員アンケート「家庭地域との連携」79%(A評価前年度比+23.3%)、保護者アンケート「地域の活動に積極的に参加」53%であった。<br>②地域の夏まつり、秋の運動会、育成会主催の講演会、会議等に校長又は教頭が参加し、地域の方とコミュニケーションを図ったり児童の様子を見守ったりした。 | A   | ○今年度は、熟議のテーマを絞らずに、本校の実態の説明・報告から課題点等を挙げて熟議を行った。次年度は時間を有効に使うために、テーマを絞って提示するようにする。                                                                              |
| 4           | (現状)<br>○新たな教育課題に対応するために、校内研修を実施している。(エバンジェリストを中心としたICT活用研修など)<br>(課題)<br>○教科等の学びを深めるためのICTの活用は、今後も研修を積み重ねて授業改善につなげる必要がある。<br>○若手教員(経験の浅い教員)の増加による指導力を継承する必要がある。                                                                                                     | ○教職員の協働・協力体制による校内研修の充実                              | ①エバンジェリストを中心としたICT活用研修会を実施し、積極的にICTを活用する。<br>②積極的に互いの授業を参観し合う。<br>③小・中一貫教育を推進し、中学校区の連携を図る。                                      | ①「学びの指標」2回目のICTの活用状況に関する項目二つが市平均3.2を超える。(3～6年)<br>②研究授業、公開授業を積極的に参観し、指導法について学ぶ機会にする。<br>③夏季休業中の中学校区の合同研修を中心に3校で連携する。                                             | ①「学びの指標」が二項目ともに市平均を超えている教員が11名、一項目が市平均を超えている教員が6名であった。満たない者も市平均に迫っている。<br>②研究授業は、全教職員が指導案検討から参加し、指導法の共有をしている。公開授業は全員行い、参観後のコメントをPC内の一覧表にまとめることで、授業者、他の参観者共に学びのあるものとなっている。<br>③合同研修会で共有した内容で実際に児童生徒間の交流をした。また、これまで積み上げてきた安全教育の一環で、中学生を指導者とする心肺蘇生法の学習を今年度も実施した。                     | B   | ○ICTの活用については、教科の学びを深められるように、今後も研究していく。<br>○授業力はよい授業を参観することから始まるため、今後も積極的に研究授業や公開授業をおこなっていく。<br>○小・中一貫教育を推進し、今後の義務教育学校に向けて、内容中学校と浦和大里小学校との教職員間での具体的な連携を明確にする。 |

子どもたちが楽しく学校に通っていることが伺える。近年は、いじめの対応等で忙しい中、子どもに寄り添った指導を行えている。  
下校に付き添っていると道路で危ない場面を見かけることがある。  
校庭の木は、秋には落ち葉が多い。樹高も高く学校で予算が確保できないのであれば、枝の剪定を市教委に計画的に実施してもらってはどうか。

来年度は、学習に絡めて地域のことを知ったり、関わったりする機会を設定していけるとよいのではないかと。  
学校からの積極的なアナウンスがあったおかげか、地域の夏祭りに参加した児童が増えた。住んでいる地域に関係なく受け入れているイベントもあるので、来年度も積極的にアナウンスしていただきたい。  
PTA や自治会、青少年育成沼影小地区会の役員のお子さんは、よく地域の活動に参加をいただいている。

エバンジェリストなど聞ききれない用語があるが、職員同士で研修を行い、授業改善や指導力の向上を学校全体で図っていることが分かった。  
職員の育成を行うことは重要で、研修の時間を確保していくことも重要である。  
義務教育学校に向けてのワーキンググループも開かれている。通学班をどうするかとか、クラブ活動はどうするかとか具体的なことも考えていかなければならない。